Minebea
Passion to Exceed Precision

決算説明会

2013年3月期第2四半期

2012年11月2日
ミネベア株式会社

Minebea
Passion to Exceed Precision

１．業績の説明

２．経営方針と事業戦略

Minebea
Passion to Exceed Precision

業績の説明

取締役 専務執行役員　　加藤木 洋治

上半期連結業績ハイライト

Minebea
Passion to Exceed Precision

円高、人件費上昇の中、東日本大震災、タイ大洪水から大きく回復
但し、計画は未達

（百万円）	2012年3月期 上半期	2013年3月期 上半期	前年同期比 伸び率	2013年3月期 上半期 期初計画	2013年3月期 上半期 達成率
売上高	132,448	139,101	+5.0%	148,100	93.9%
営業利益	6,052	7,700	+27.2%	9,400	81.9%
経常利益	5,032	6,942	+38.0%	8,200	84.7%
純利益	2,769	3,720	+34.3%	5,600	66.4%
一株当たり純利益（円）	7.30	9.94	+36.2%	14.97	66.4%

為替レート	12/3期上半期	13/3期上半期	13/3期上半期想定
US$	80.24円	79.73円	77.00円
ユーロ	115.76円	101.27円	103.00円
タイバーツ	2.66円	2.55円	2.50円
人民元	12.38円	12.56円	12.20円

2Q連結業績ハイライト

Minebea
Passion to Exceed Precision

タイ大洪水からの緩やかな回復が継続するも、円高、世界経済減速で伸び鈍化
秋口から様々な製品市場が徐々に縮小傾向を強めている

（百万円）	2012年3月期	2013年3月期		前年同期比	前四半期比
	2Q	1Q	2Q	伸び率	伸び率
売上高	67,646	68,621	70,480	+4.2%	+2.7%
営業利益	3,749	3,693	4,007	+6.9%	+8.5%
経常利益	3,162	3,368	3,573	+13.0%	+6.1%
四半期純利益	2,100	1,718	2,002	-4.7%	+16.5%
一株当たり四半期純利益（円）	5.56	4.57	5.37	-3.4%	+17.5%

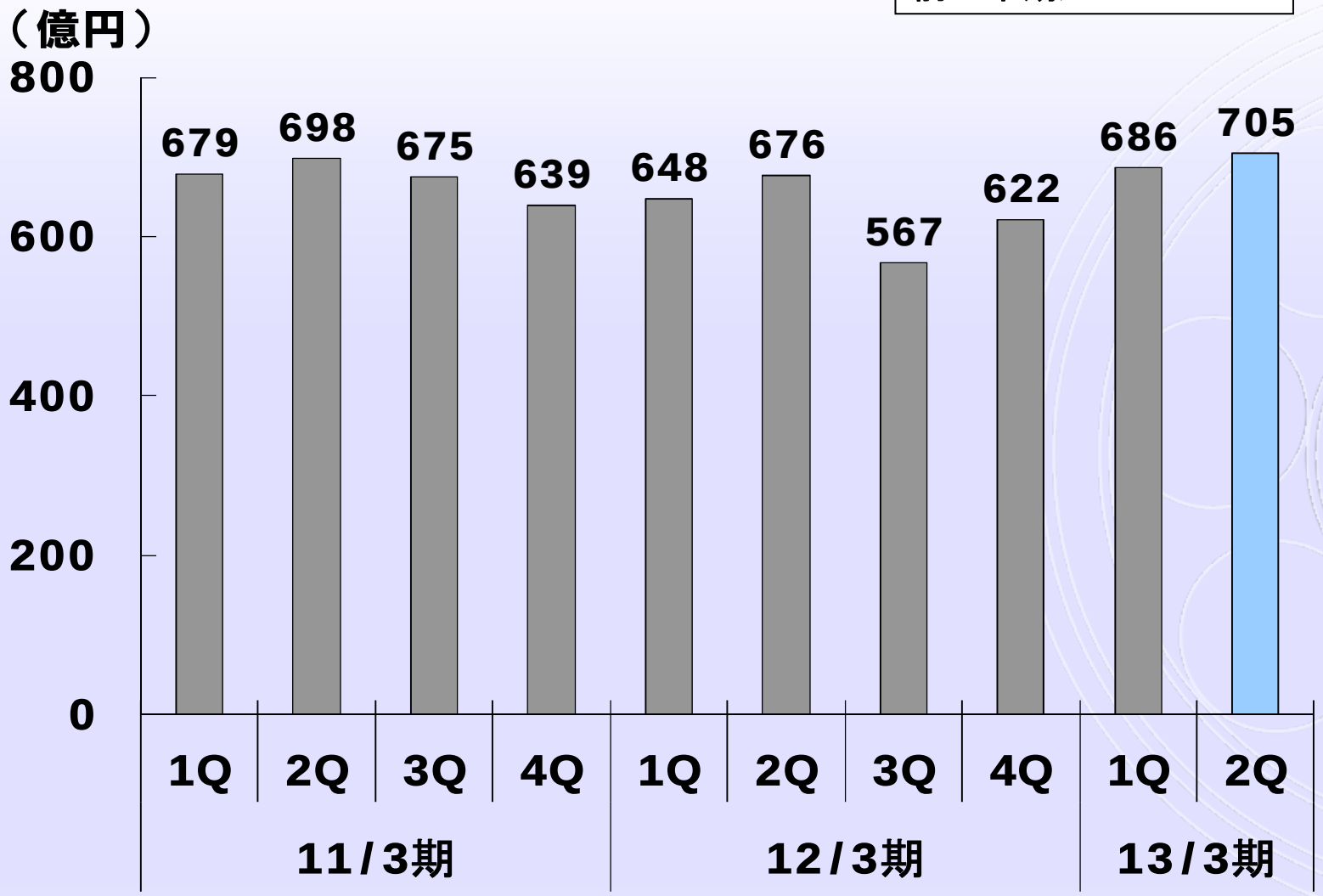
為替レート	12/3期2Q	13/3期1Q	13/3期2Q
US$	78.44円	80.77円	78.69円
ユーロ	112.98円	104.89円	97.65円
タイバーツ	2.59円	2.60円	2.49円
人民元	12.18円	12.76円	12.36円

売上高

四半期推移

Minebea
Passion to Exceed Precision

前年同期比　＋4.2%
前四半期比　＋2.7%

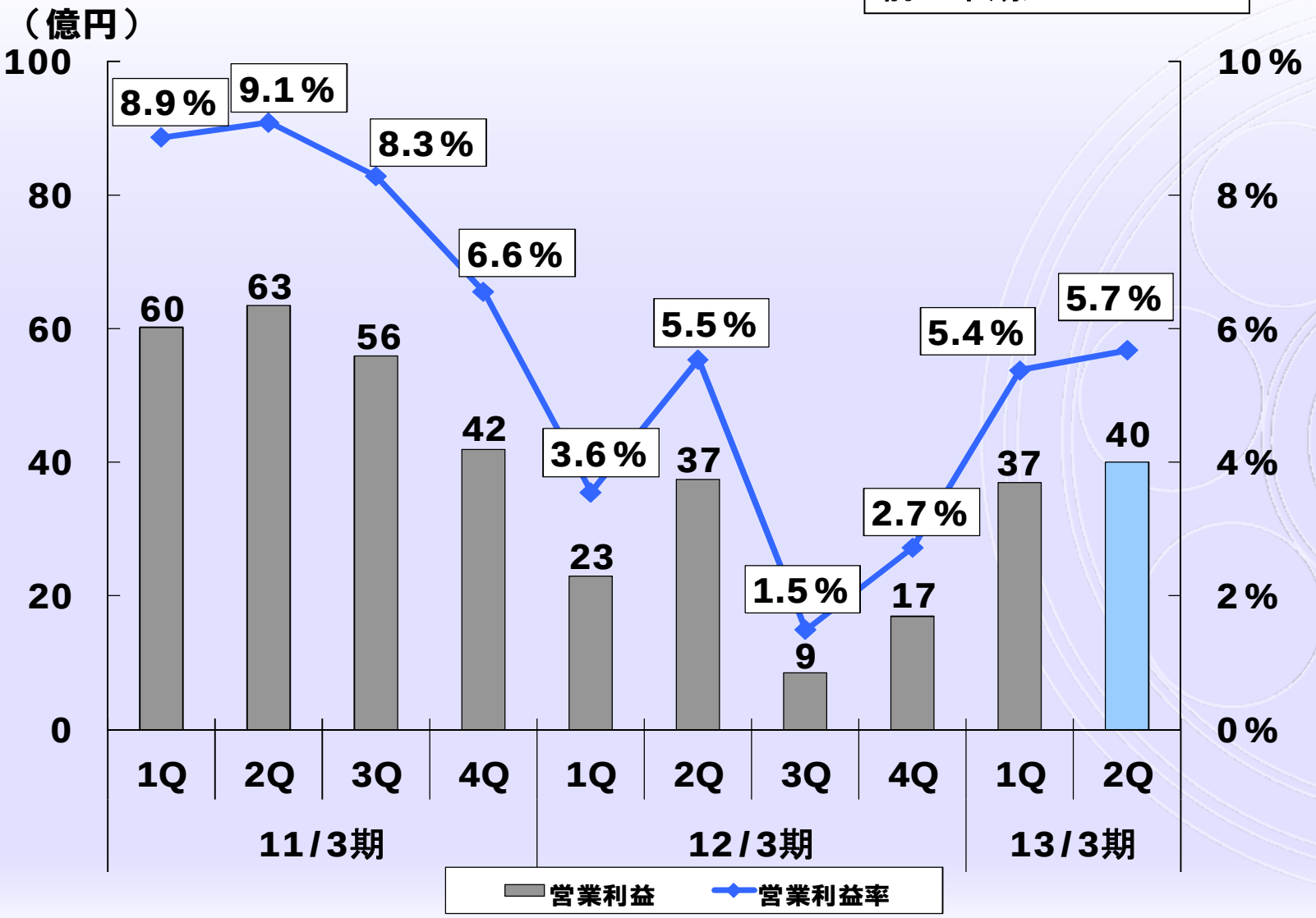


営業利益

四半期推移

Minebea
Passion to Exceed Precision

前年同期比　＋6.9%
前四半期比　＋8.5%

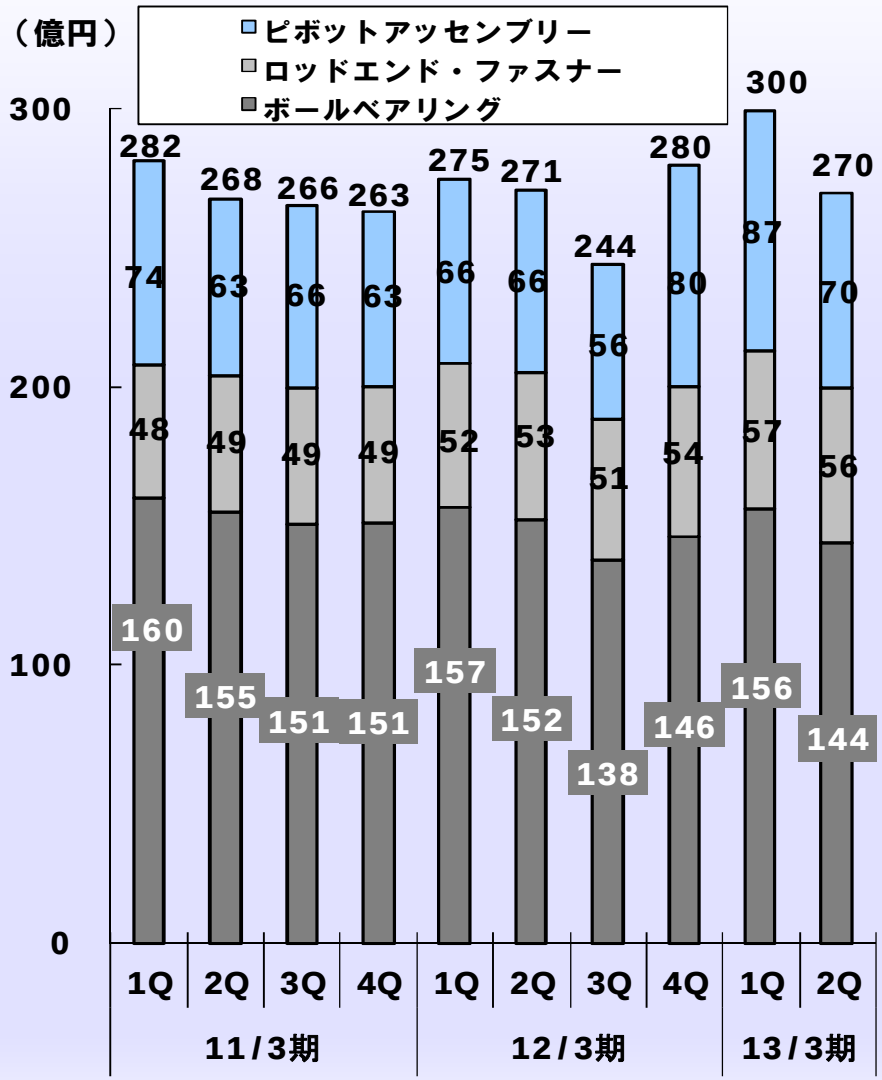


機械加工品事業

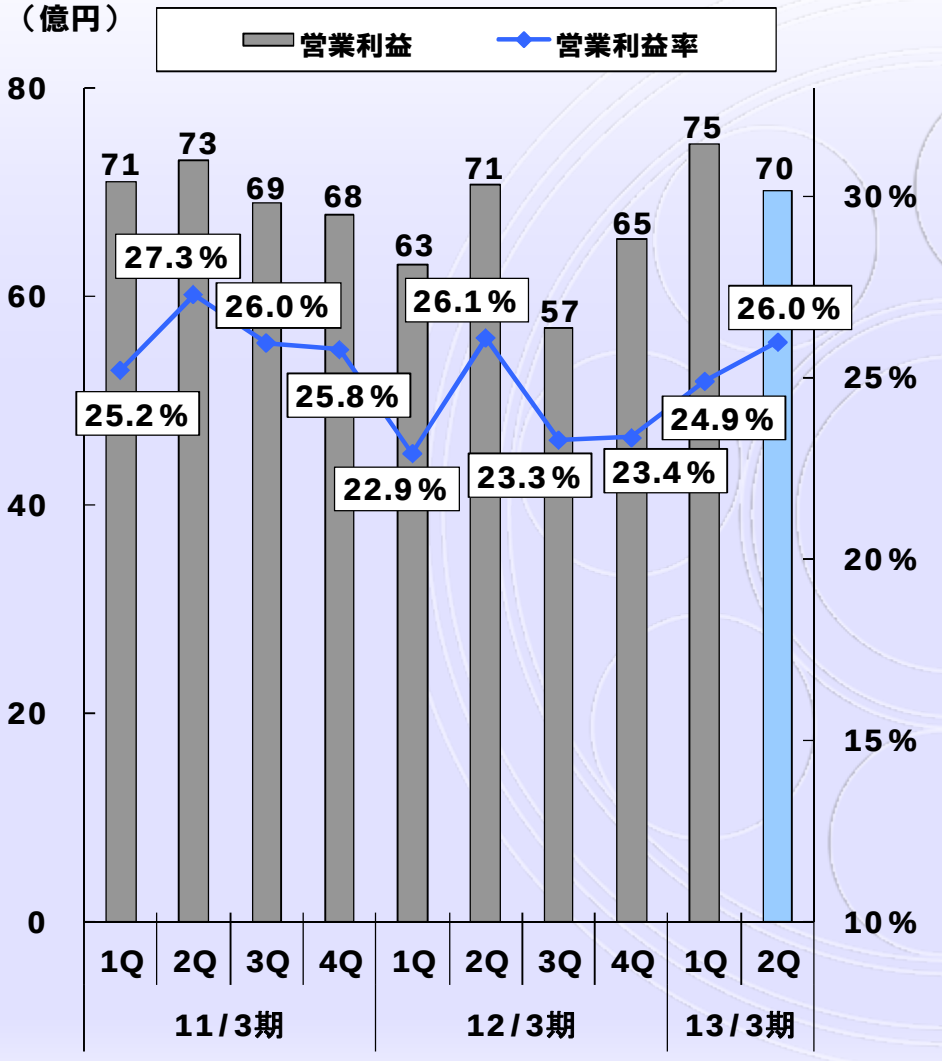
セグメント別　四半期推移

Minebea
Passion to Exceed Precision

売上高



営業利益

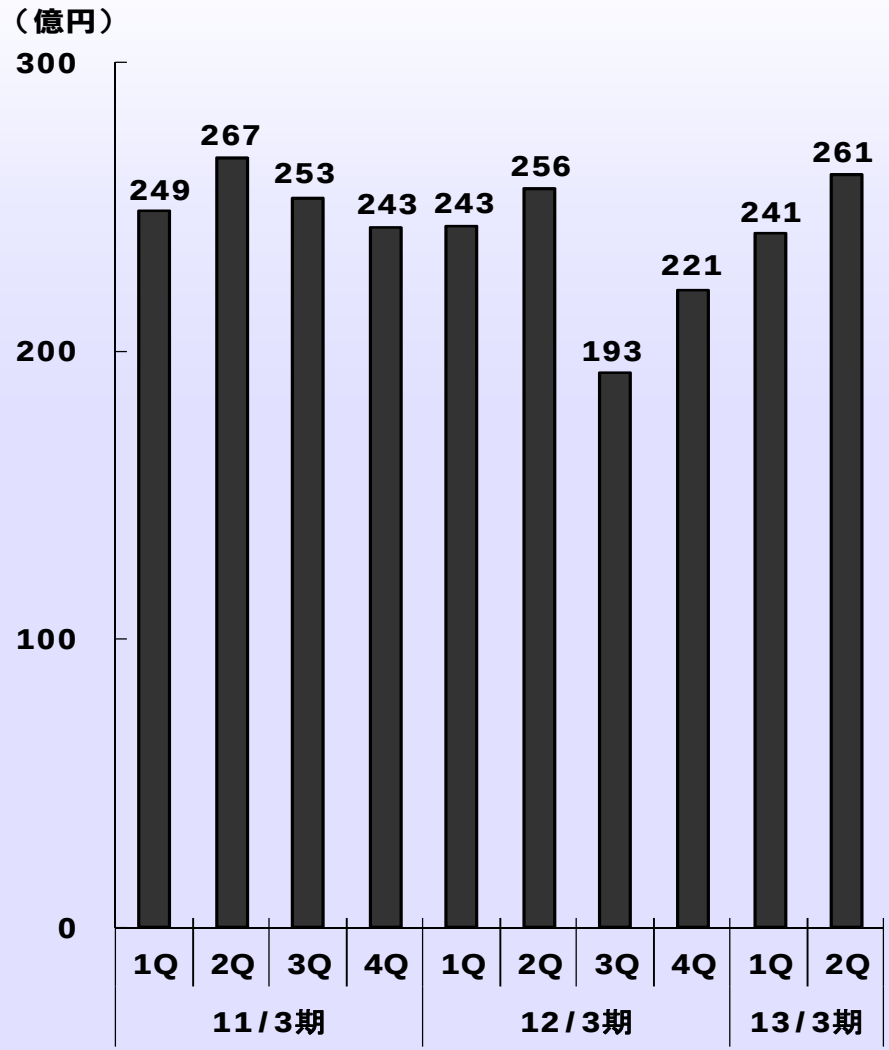


回転機器事業

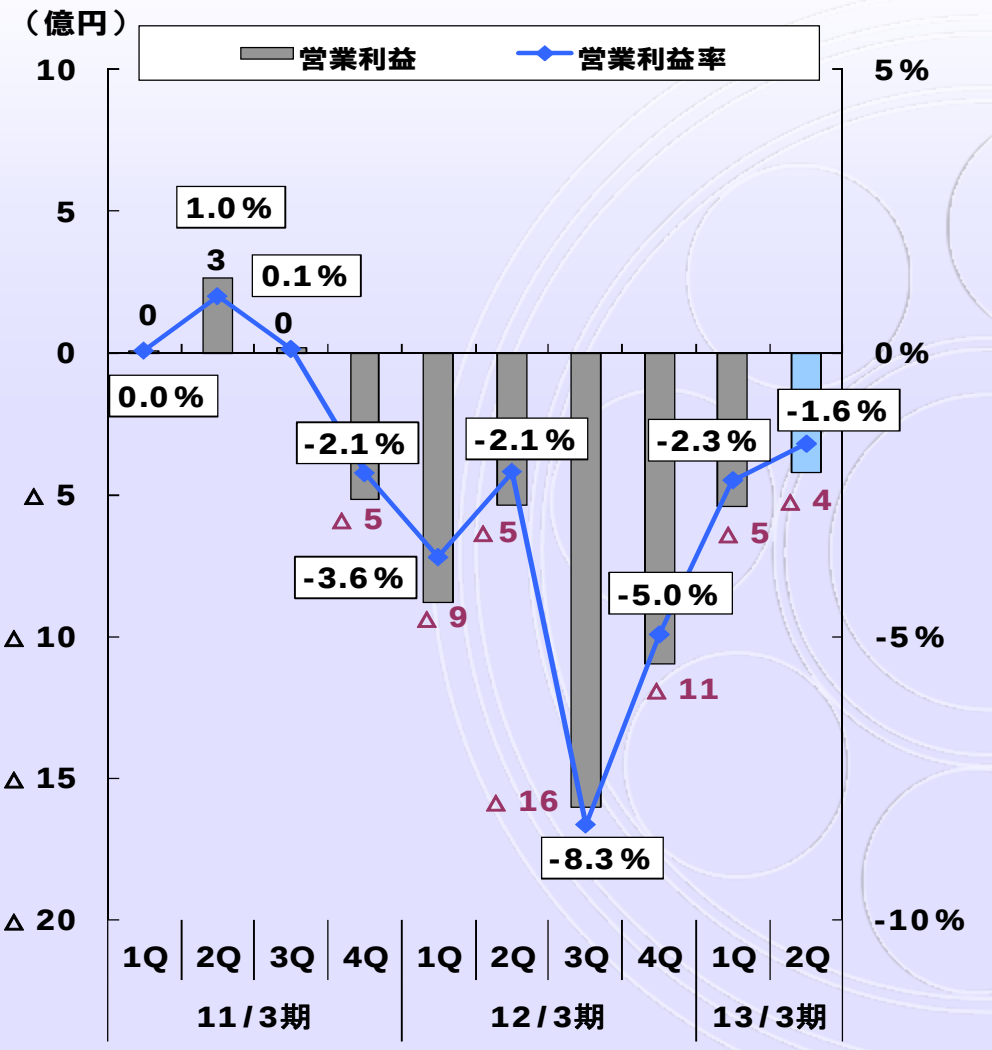
セグメント別　四半期推移

Minebea
Passion to Exceed Precision

売上高



営業利益

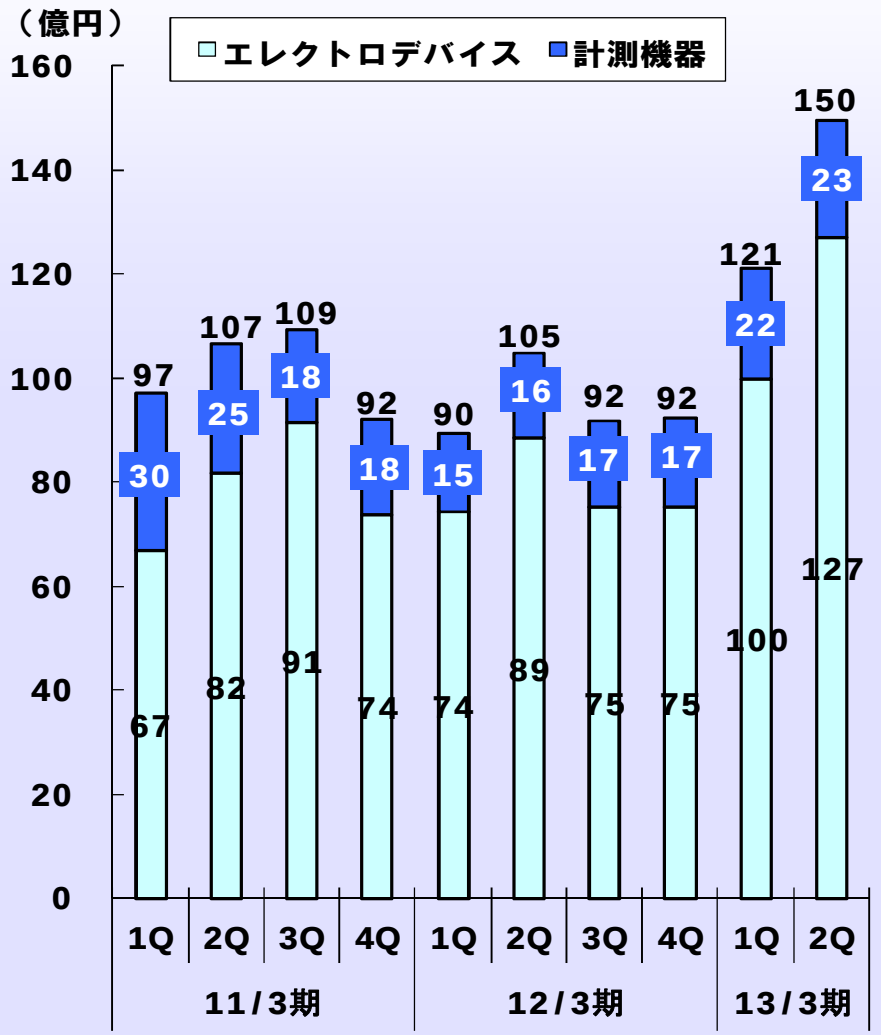


電子機器事業

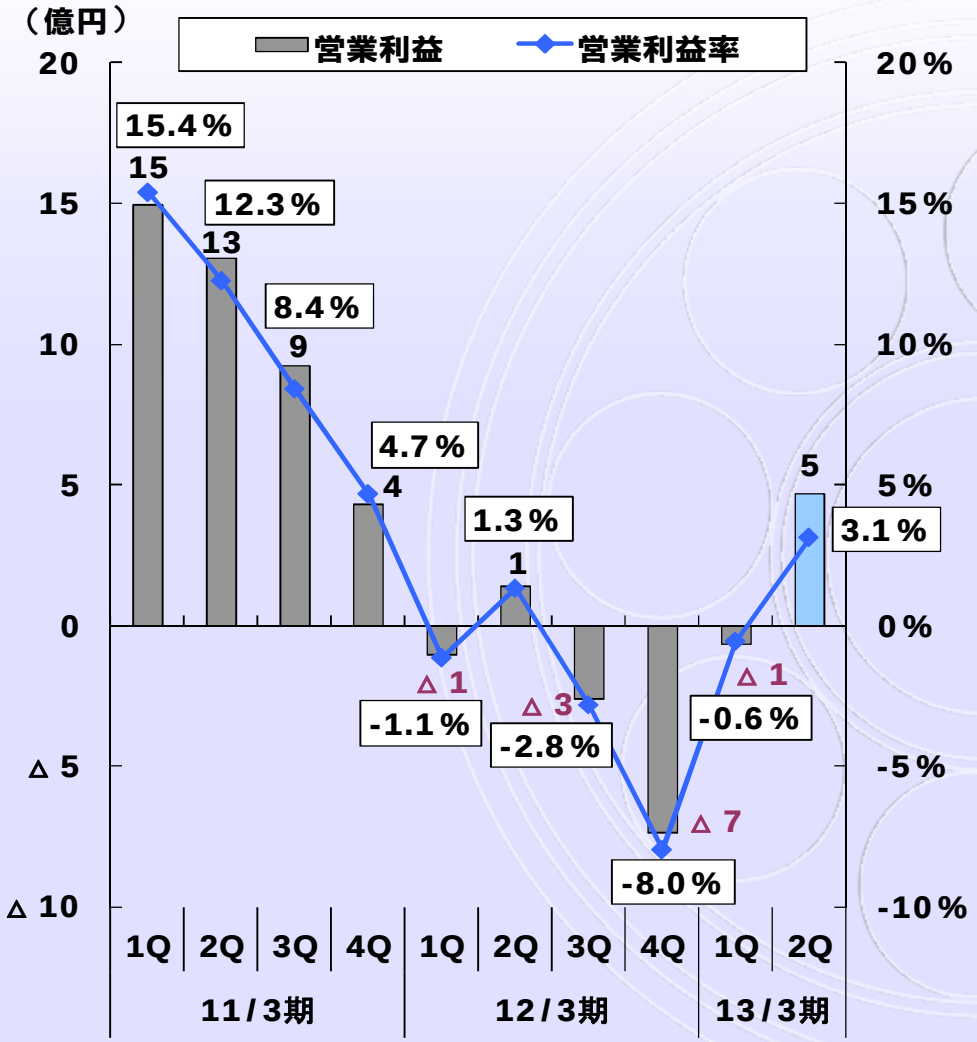
セグメント別　四半期推移

Minebea
Passion to Exceed Precision

売上高



営業利益



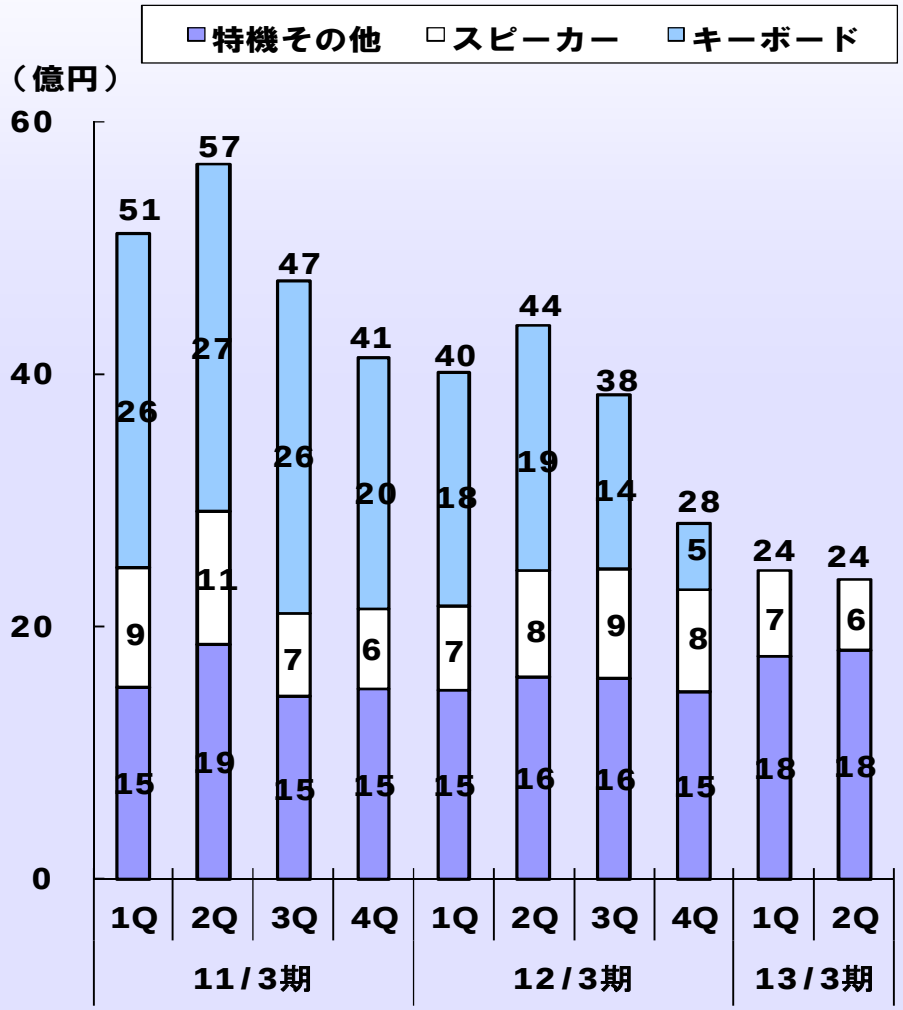
2012年11月2日

その他事業

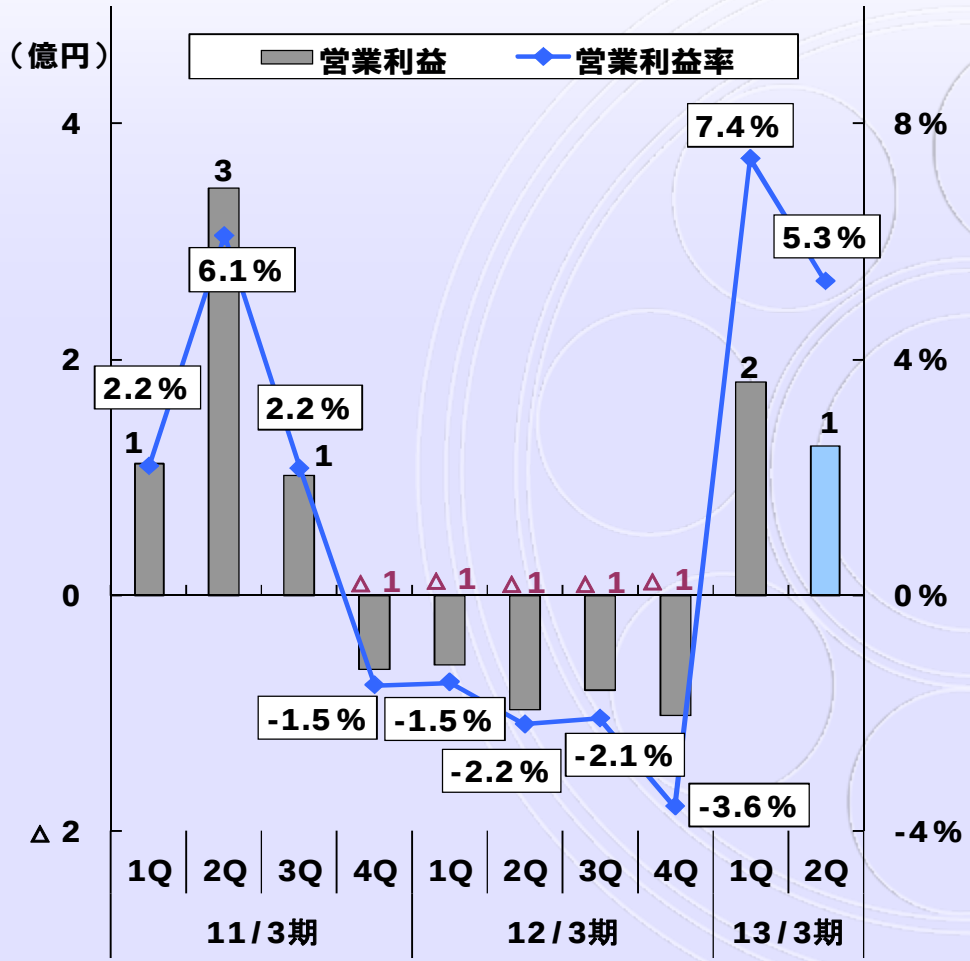
セグメント別　四半期推移

Minebea
Passion to Exceed Precision

売上高



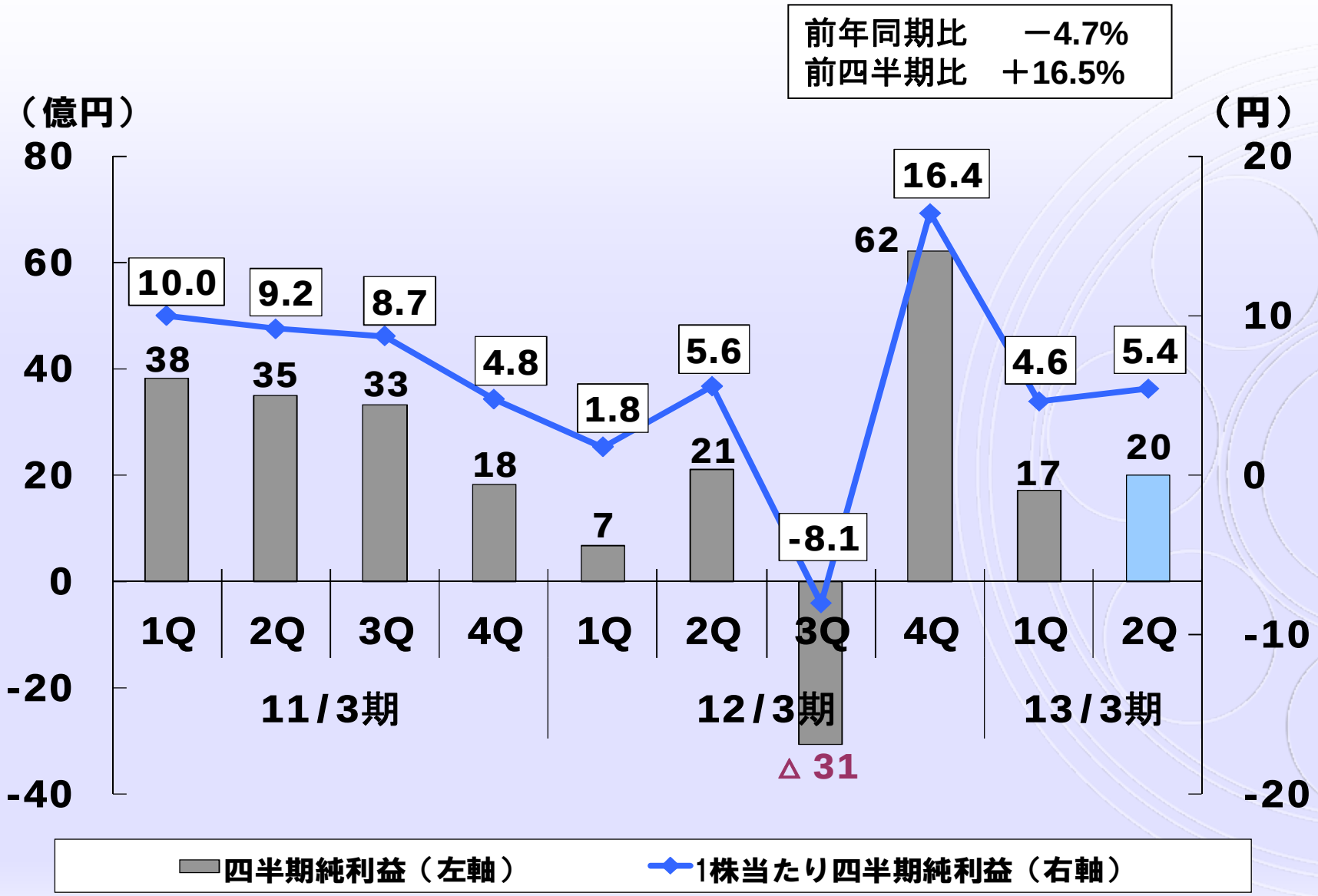
営業利益



純利益

四半期推移

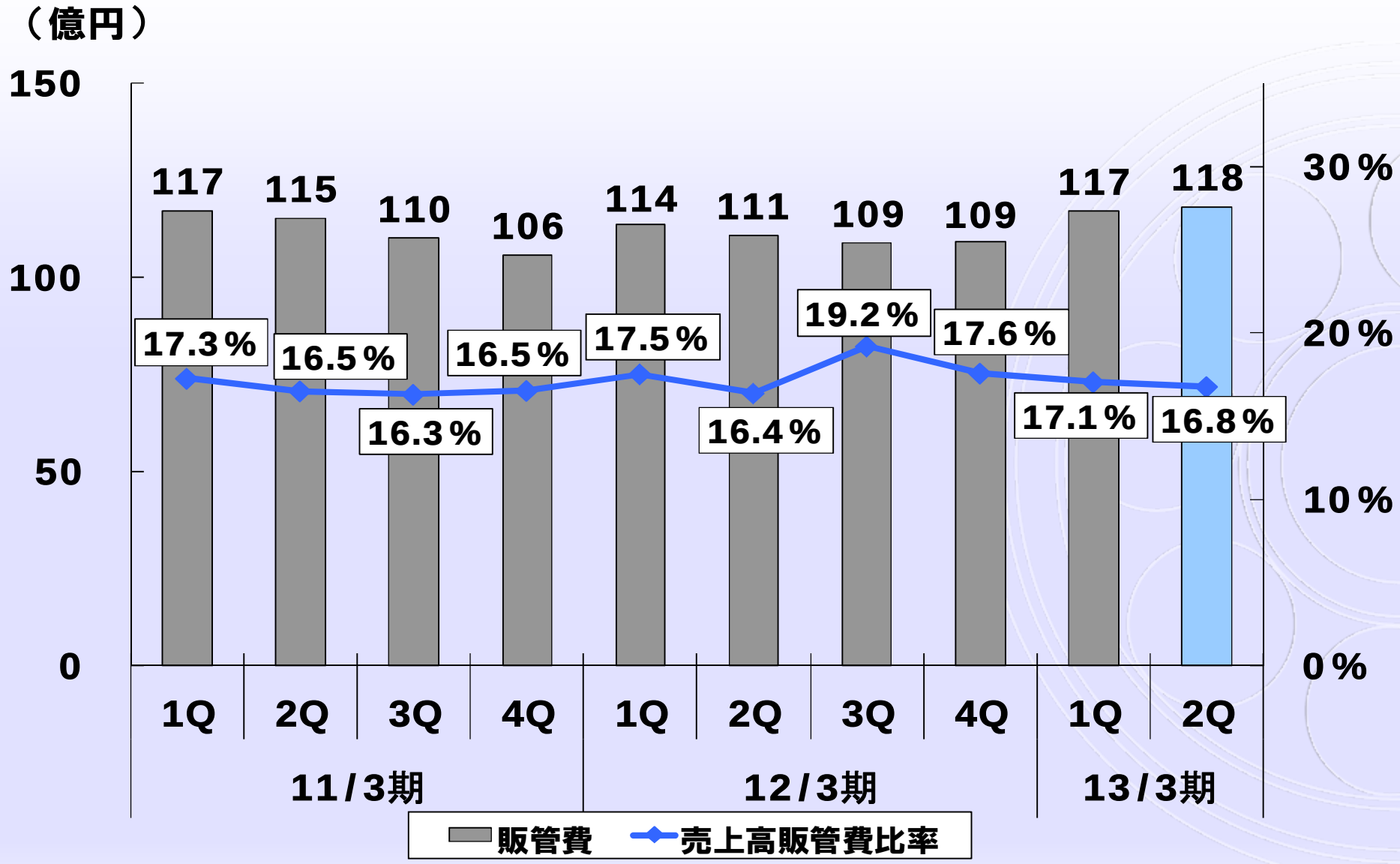
Minebea
Passion to Exceed Precision



販管費

四半期推移

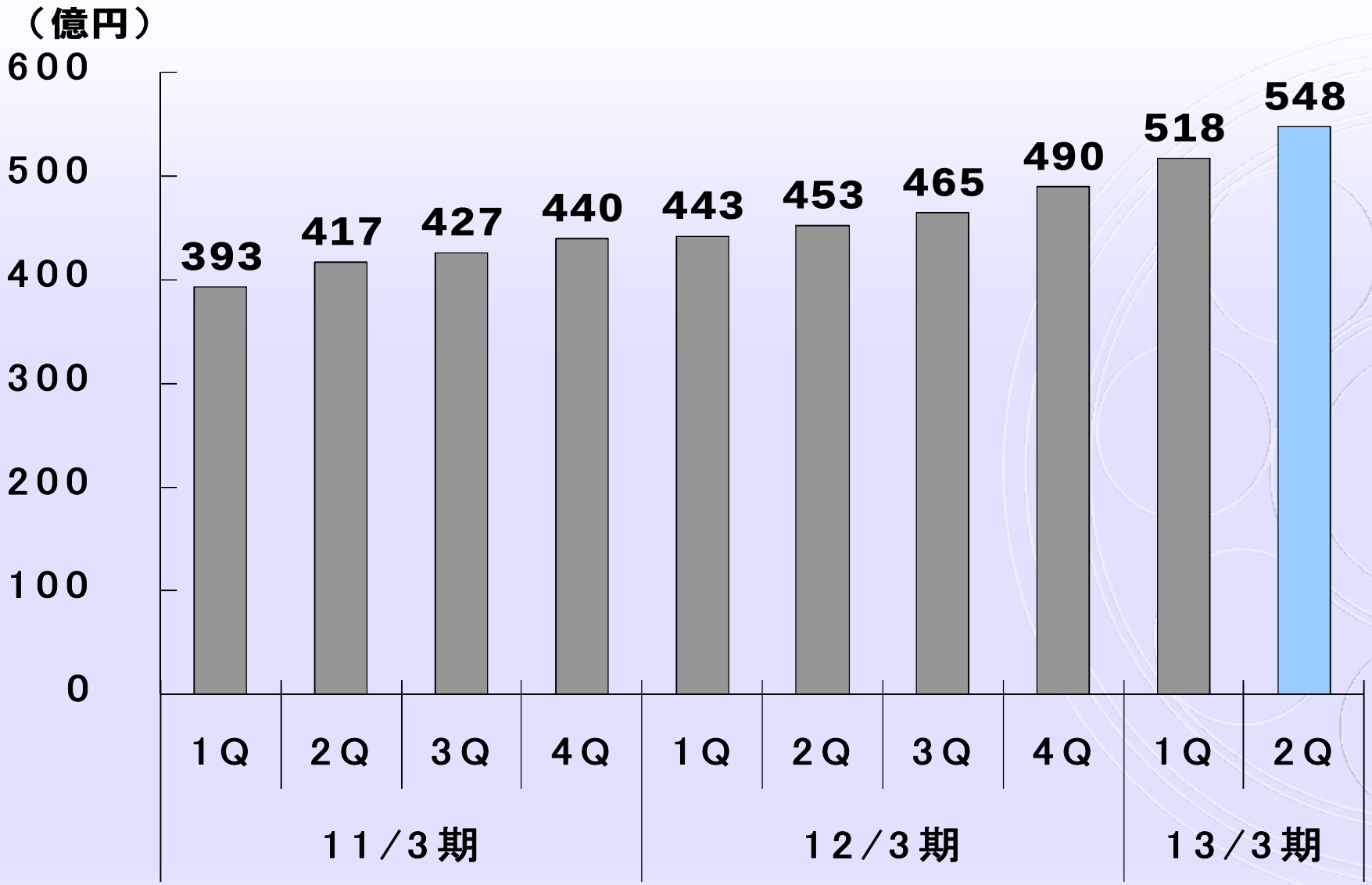
Minebea
Passion to Exceed Precision



たな卸資産

四半期推移

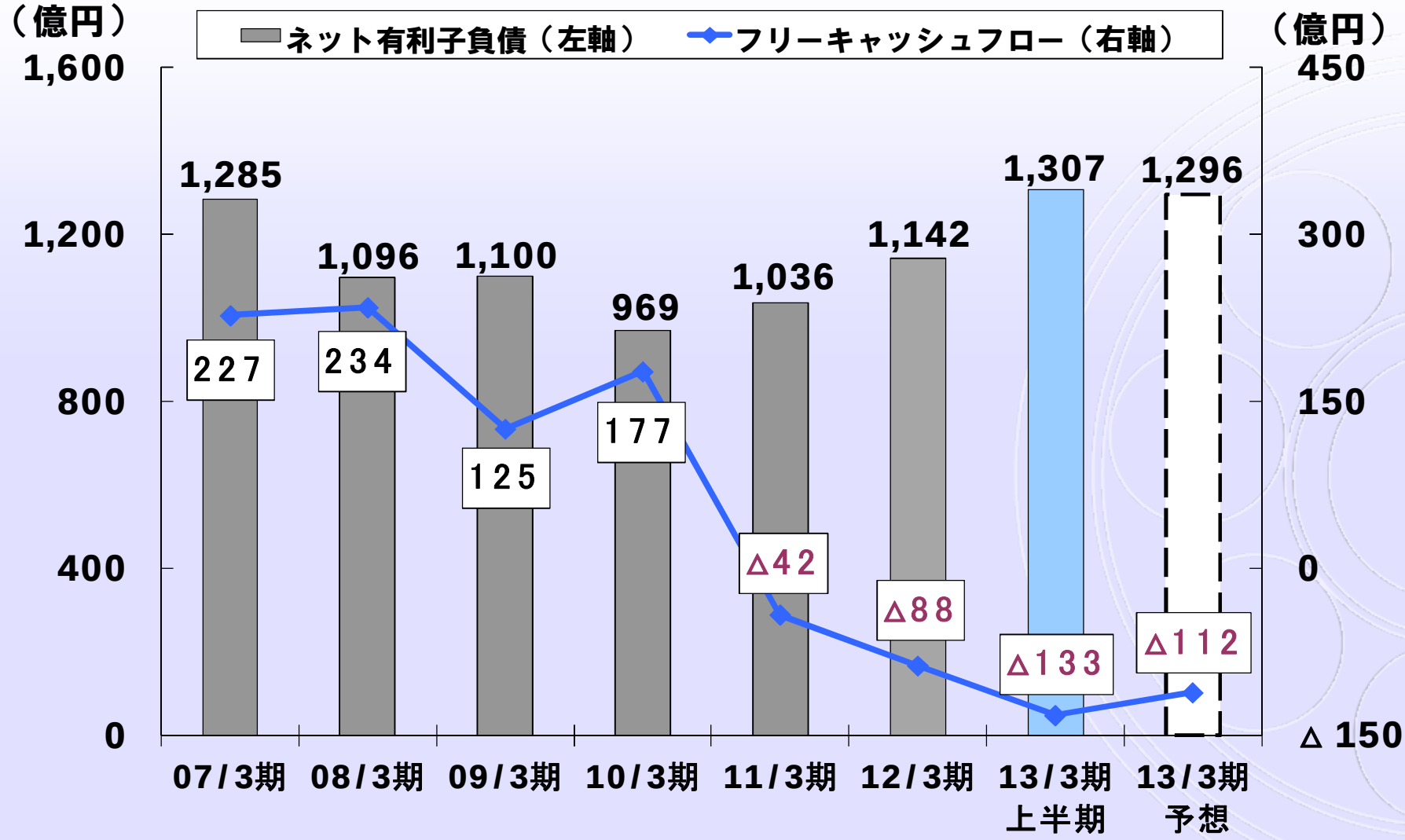
Minebea
Passion to Exceed Precision



ネット有利子負債

年推移

Minebea
Passion to Exceed Precision

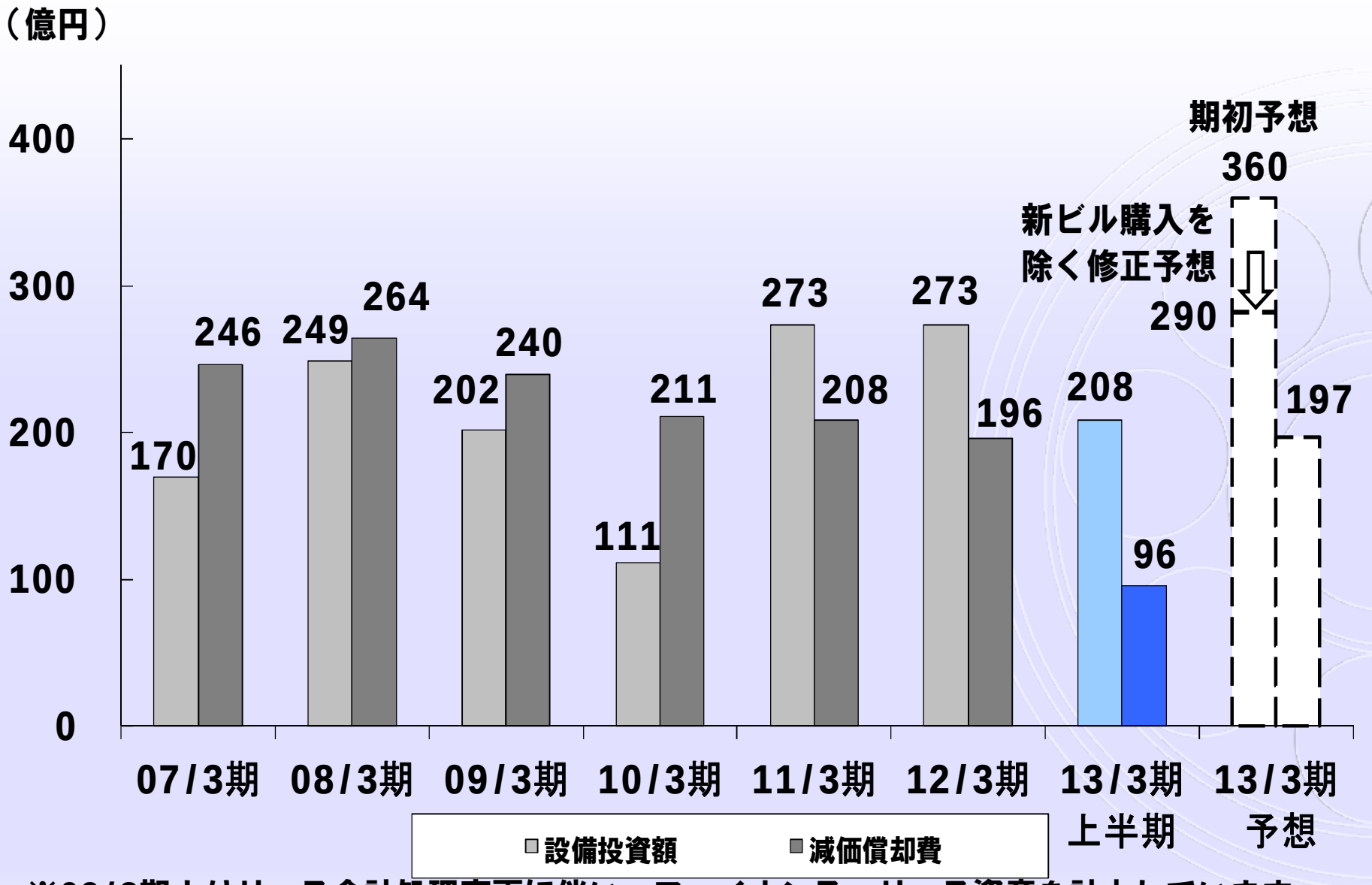


ネット有利子負債　：　有利子負債合計－現預金
フリーキャッシュフロー　：　営業活動CF＋投資活動CF

設備投資額・減価償却費

年推移

Minebea
Passion to Exceed Precision



※09/3期よりリース会計処理変更に伴い、ファイナンス・リース資産を計上しています。

業績予想

Minebea
Passion to Exceed Precision

世界経済の減速を受け、通期予想を下方修正

（百万円）	2012年3月期 通期	2013年3月期 上半期	2013年3月期 下半期 修正予想	2013年3月期 通期 修正予想	2013年3月期 通期予想 前期比	2013年3月期 従来計画 下半期	2013年3月期 従来計画 通期
売上高	251,358	139,101	152,899	292,000	+16.2%	163,900	312,000
営業利益	8,599	7,700	7,800	15,500	+80.3%	13,900	23,300
経常利益	6,499	6,942	6,058	13,000	2.0倍	12,600	20,800
純利益	5,922	3,720	3,680	7,400	+24.9%	6,900	12,500
一株当たり純利益（円）	15.63	9.94	9.87	19.81	+26.7%	18.53	33.50

為替レート	12/3期 通期	13/3期 上半期	13/3期 下半期想定	13/3期 通期想定	13/3期下半期 従来想定	13/3期通期 従来想定
US$	79.07円	79.73円	77.00円	78.37円	77.00円	77.00円
ユーロ	110.20円	101.27円	103.00円	102.14円	103.00円	103.00円
タイバーツ	2.59円	2.55円	2.50円	2.53円	2.50円	2.50円
人民元	12.33円	12.56円	12.20円	12.38円	12.20円	12.20円

セグメント別業績予想

Minebea
Passion to Exceed Precision

（百万円）	2012年3月期 通期	2013年3月期 上半期	2013年3月期 下半期 修正予想	2013年3月期 通期 修正予想	通期予想 前期比
売上高	251,358	139,101	152,899	292,000	+16.2%
機械加工品	107,037	56,944	54,256	111,200	+3.9%
回転機器	91,363	50,219	51,281	101,500	+11.1%
電子機器	37,887	27,110	42,390	69,500	+83.4%
その他	15,068	4,827	4,973	9,800	-35.0%
営業利益	8,599	7,700	7,800	15,500	+80.3%
機械加工品	25,611	14,471	12,729	27,200	+6.2%
回転機器	△4,118	△962	△1,438	△2,400	-
電子機器	△959	404	2,696	3,100	-
その他	△338	308	△8	300	-
調整額	△11,595	△6,520	△6,180	△12,700	-

Minebea
Passion to Exceed Precision

経営方針と事業戦略について

2012年 11月2日
代表取締役 社長執行役員　貝沼　由久

変化する事業環境

Minebea
Passion to Exceed Precision

大震災・大洪水から回復
（全ての事業セグメントで営業利益率が改善）

事業環境の変化

・世界経済の減速が強まる
（欧州債務危機の長期化、中国の景気減速）
→ HDD市場の冷え込み（PCの販売不振）
→ 産業機械、OA機器の販売不振
→ 中国市場・欧州市場を中心に、自動車などの販売不振



プラス面

・スマホやタブレットPC向け製品の受注拡大が続く
・航空機部品の受注拡大が続く
・複合部品事業の売上拡大は堅調

HDD市場の冷え込みとピボット事業

PC販売低迷によるHDD市場の急速な冷え込み

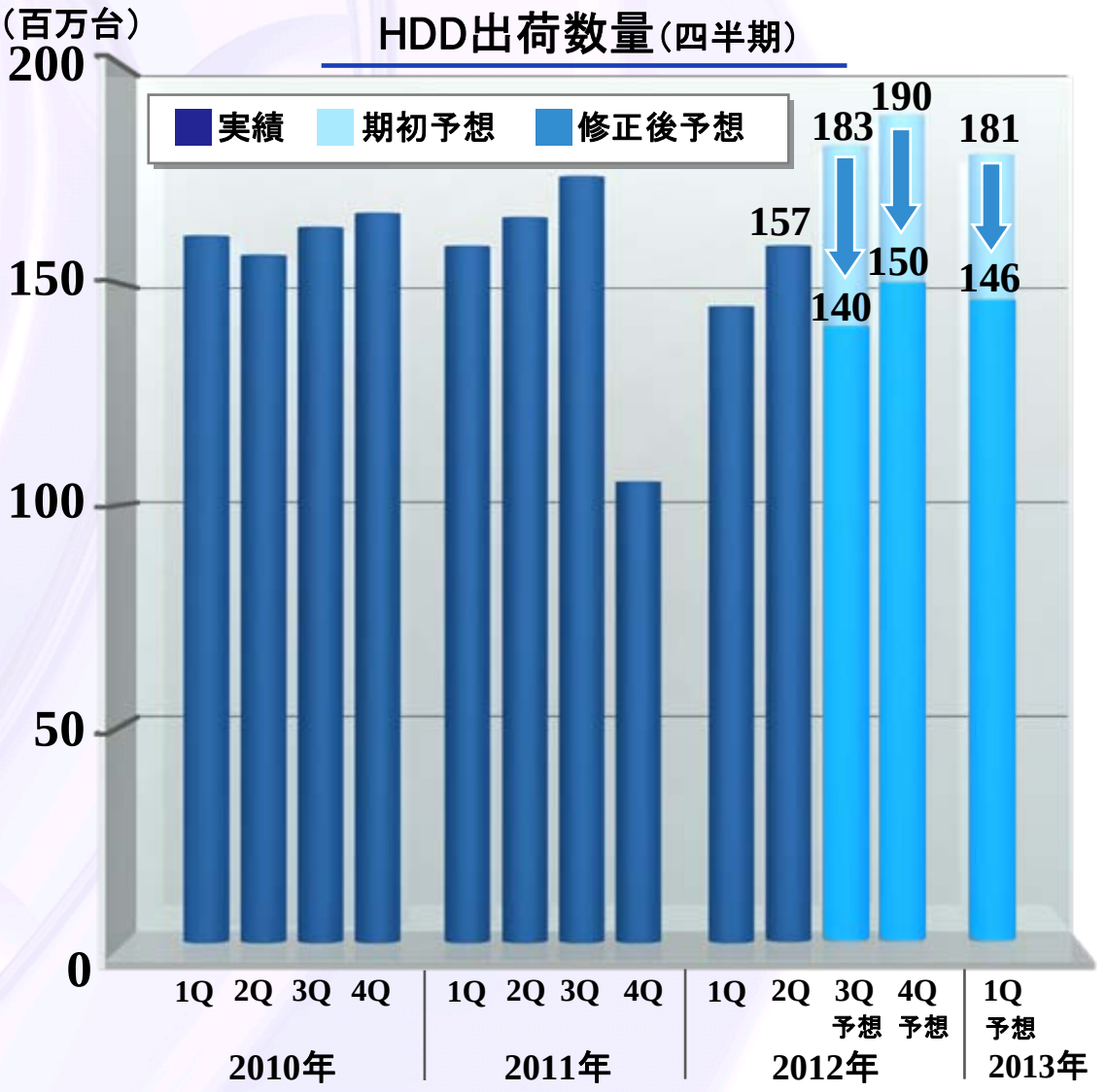
ピボット・アッセンブリーの
今期販売数量見込み下方修正

HDD市場の中期的成長性は不変

世界中で急増するデジタル・データ量の受け皿としてのHDD

高い市場シェアを維持

昨年10月のタイ大洪水以降に上昇した8割のシェアを維持
特に最新の高付加価値製品（7mm厚、5mm厚）は当社が先行



（出所：TSR〔2012年10月11日〕）

変化する事業環境

Minebea
Passion to Exceed Precision

大震災・大洪水から回復
（全ての事業セグメントで営業利益率が改善）

事業環境の変化

・世界経済の減速が強まる
（欧州債務危機の長期化、中国の景気減速）
→ HDD市場の冷え込み（PCの販売不振）
→ 産業機械、OA機器の販売不振
→ 中国市場・欧州市場を中心に、自動車などの販売不振



プラス面

・スマホやタブレットPC向け製品の受注拡大が続く
・航空機部品の受注拡大が続く
・複合部品事業の売上拡大は堅調

HDDスピンドルモーター事業

HDD市場の冷え込み

↓

2Qでの実質収支均衡目標にわずかに届かず

タイ大洪水被害からの自社生産能力復旧は、ほぼ完了へ

↓

最新設備への更新で、生産性が大幅に向上

サーバーや7mm厚向けなど高付加価値製品中心の
製品ミックスを維持

下半期以降は安定した数量の確保による
収益体制の確立を目指す

変化する事業環境

Minebea
Passion to Exceed Precision

大震災・大洪水から回復
（全ての事業セグメントで営業利益率が改善）

事業環境の変化

・世界経済の減速が強まる
（欧州債務危機の長期化、中国の景気減速）
→ HDD市場の冷え込み（PCの販売不振）
→ 産業機械、OA機器の販売不振
→ 中国市場・欧州市場を中心に、自動車などの販売不振



プラス面

・スマホやタブレットPC向け製品の受注拡大が続く
・航空機部品の受注拡大が続く
・複合部品事業の売上拡大は堅調

現在の事業環境下での、ミネベアの強み

事業ミックス

多岐にわたる事業を保有

製品ミックス

汎用品から高付加価値品まで、広範囲の製品を供給

市場ミックス

様々な製品市場向けに部品を供給

販売地域ミックス

グローバルに製品を供給

生産地域ミックス

日米欧アジアの13カ国で生産

事業環境の変化とその対応

Minebea
Passion to Exceed Precision

下半期も厳しい事業環境は続くと想定

↓

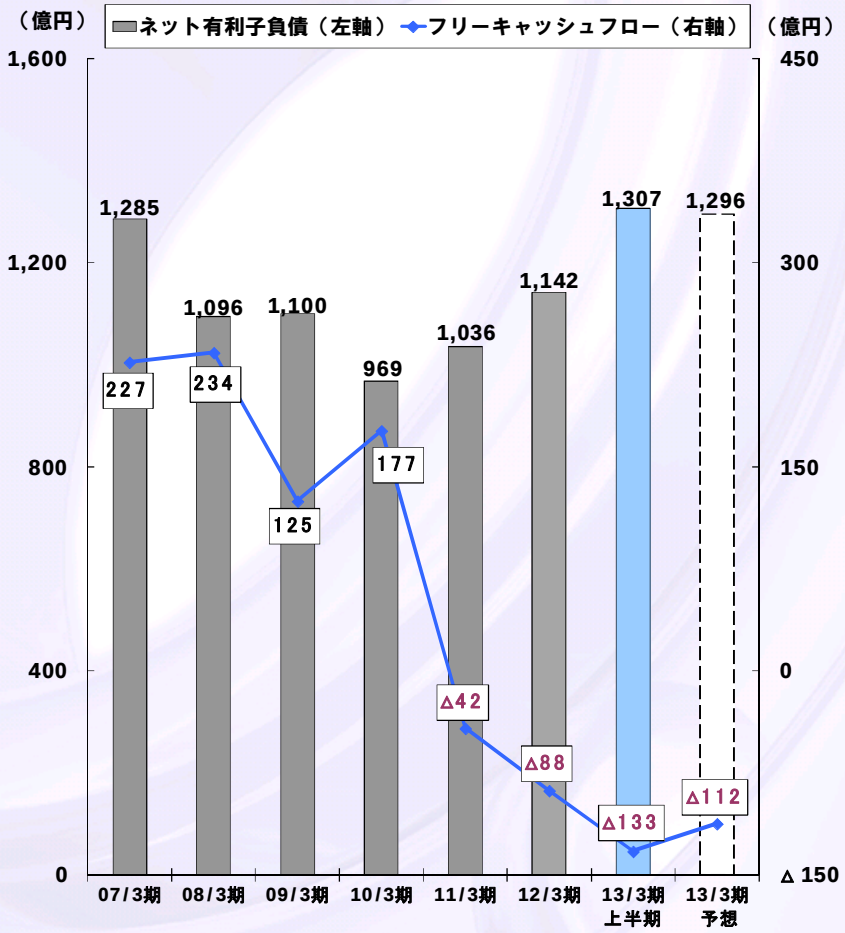
環境変化に応じて、積極投資から選択投資へ

キャッシュフローを重視

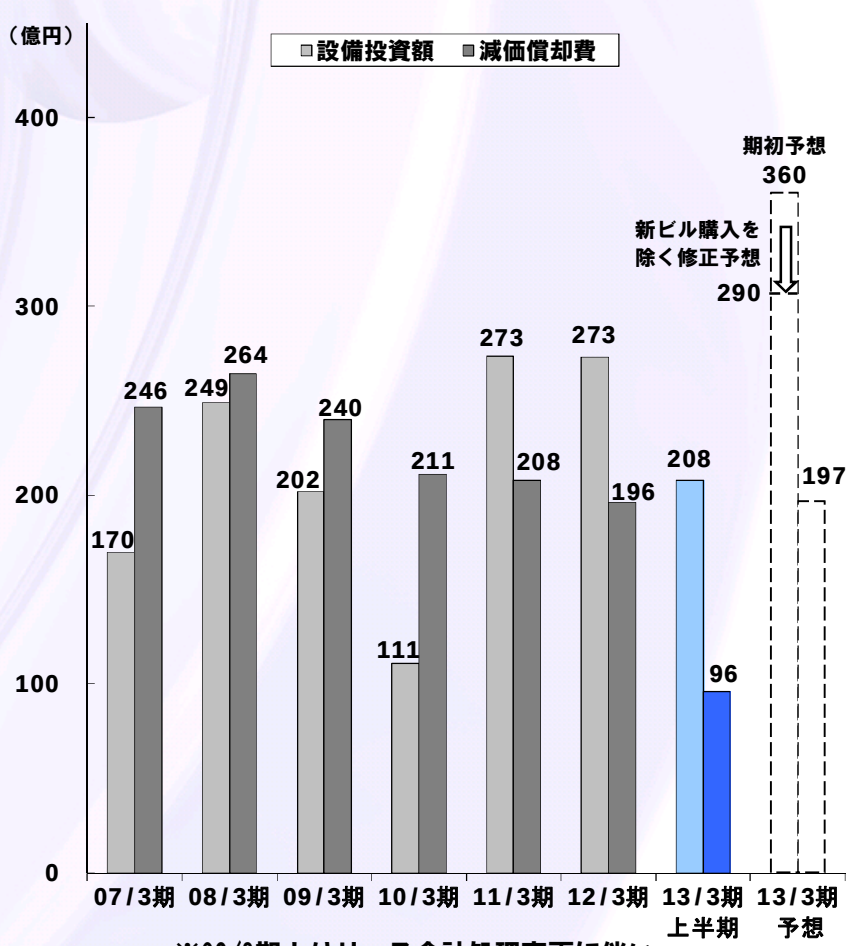
- 不要不急の設備投資を抑制
- 在庫の圧縮
- 経費の抑制
- 残業の抑制
- 生産の回復時に備え、機械効率の維持を目指す

キャッシュフロー重視と設備投資抑制

ネット有利子負債増加を受け、キャッシュフローを重視して、不要不急の設備投資を抑制



ネット有利子負債　：　有利子負債合計－現預金
フリーキャッシュフロー　：　営業活動CF＋投資活動CF



※09/3期よりリース会計処理変更に伴い、
ファイナンス・リース資産を計上しています。

事業環境の変化とその対応

Minebea
Passion to Exceed Precision

下半期も厳しい事業環境は続くと想定

↓

環境変化に応じて、積極投資から選択投資へ

キャッシュフローを重視

- 不要不急の設備投資を抑制
- 在庫の圧縮
- 経費の抑制
- 残業の抑制
- 生産の回復時に備え、機械効率の維持を目指す

下半期の重点施策

日系客先のチャイナ・プラスワンをビジネスチャンスへ

・カンボジアとフィリピンの活用
・複合部品の拡大を加速

カンボジア・フィリピン
複合部品

回転機器事業の構造改革は今期末で終了

機械加工品事業の更なる充実

M&A・アライアンスによる事業強化

カンボジア及びフィリピン工場のメリット追及

Minebea
Passion to Exceed Precision

ミネベアは、チャイナ・プラスツー

マイクロ・アクチュエーターとブラシ付きDCモーターの生産移管が進展中
受入体制の整備や顧客承認に時間が掛かるため、年度内完了がメド

ブラシレスモーター、LEDバックライトの一部工程生産移管も進展中

従業員は、年度末3,000名体制へ

日系客先のチャイナ・プラスワンへの動きを捉え、複合製品事業を拡大へ
第2棟の建設進行中

Moatech フィリピン工場の活用
ボイス・コイル・モーター月1,000万個生産体制が年内に整う。
他のモーター生産も検討中

下半期の重点施策

日系客先のチャイナ・プラスワンをビジネスチャンスへ

・カンボジアとフィリピンの活用
・複合部品の拡大を加速

カンボジア・フィリピン
複合部品

回転機器事業の構造改革は今期末で終了

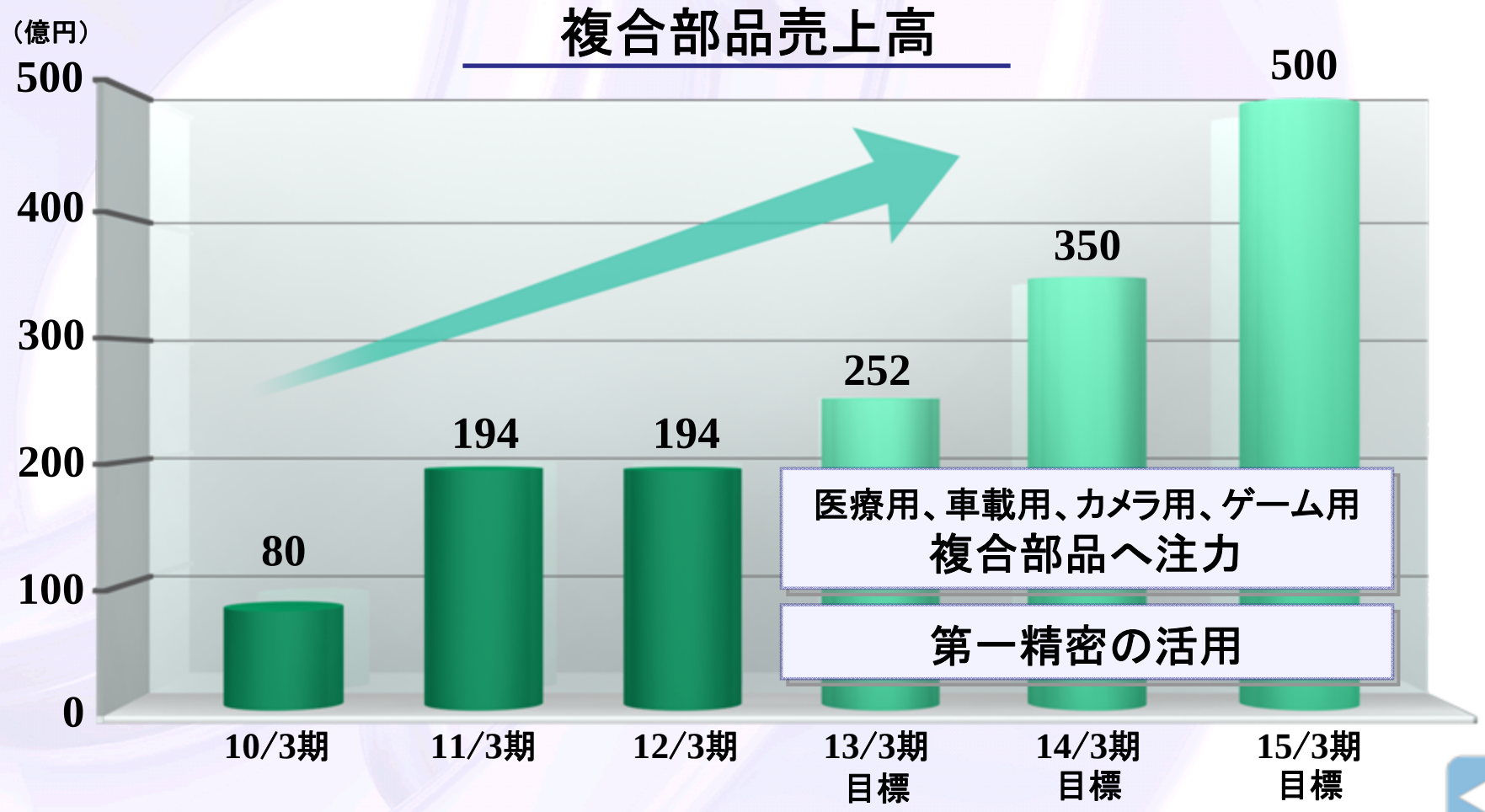
機械加工品事業の更なる充実

M&A・アライアンスによる事業強化

複合部品売上が再拡大へ

今期売上252億円、再来期は500億円へ

開発陣を強化



下半期の重点施策

日系客先のチャイナ・プラスワンをビジネスチャンスへ

・カンボジアとフィリピンの活用
・複合部品の拡大を加速

カンボジア・フィリピン
複合部品

回転機器事業の構造改革は今期末で終了

機械加工品事業の更なる充実

M&A・アライアンスによる事業強化

回転機器事業の構造改革は今期で終了

赤字事業では確実に赤字を縮小

カンボジア移管は3月末に終了

景気の動向に左右されない収益体質へ

EMTは単月黒字達成

Moatechは減収減益も
ボイス・コイル・モーターが好調

下半期の重点施策

日系客先のチャイナ・プラスワンをビジネスチャンスへ

・カンボジアとフィリピンの活用
・複合部品の拡大を加速

カンボジア・フィリピン
複合部品

回転機器事業の構造改革は今期末で終了

機械加工品事業の更なる充実

M&A・アライアンスによる事業強化

来期に向けて

■ボールベアリングの拡販

HDD用ピボット向け以外の
用途への拡販

■ロッドエンド・ファスナー の売上増加

■LEDバックライトの売上拡大

新規受注活動を強化

■ 複合部品の拡大

東京研究開発センター新設による
スピーディな開発機能の強化

■M&A・アライアンス による上乗せ



世界景気の減速とボールベアリング事業戦略

Minebea
Passion to Exceed Precision

世界経済減速とHDD市場の急速な冷え込み

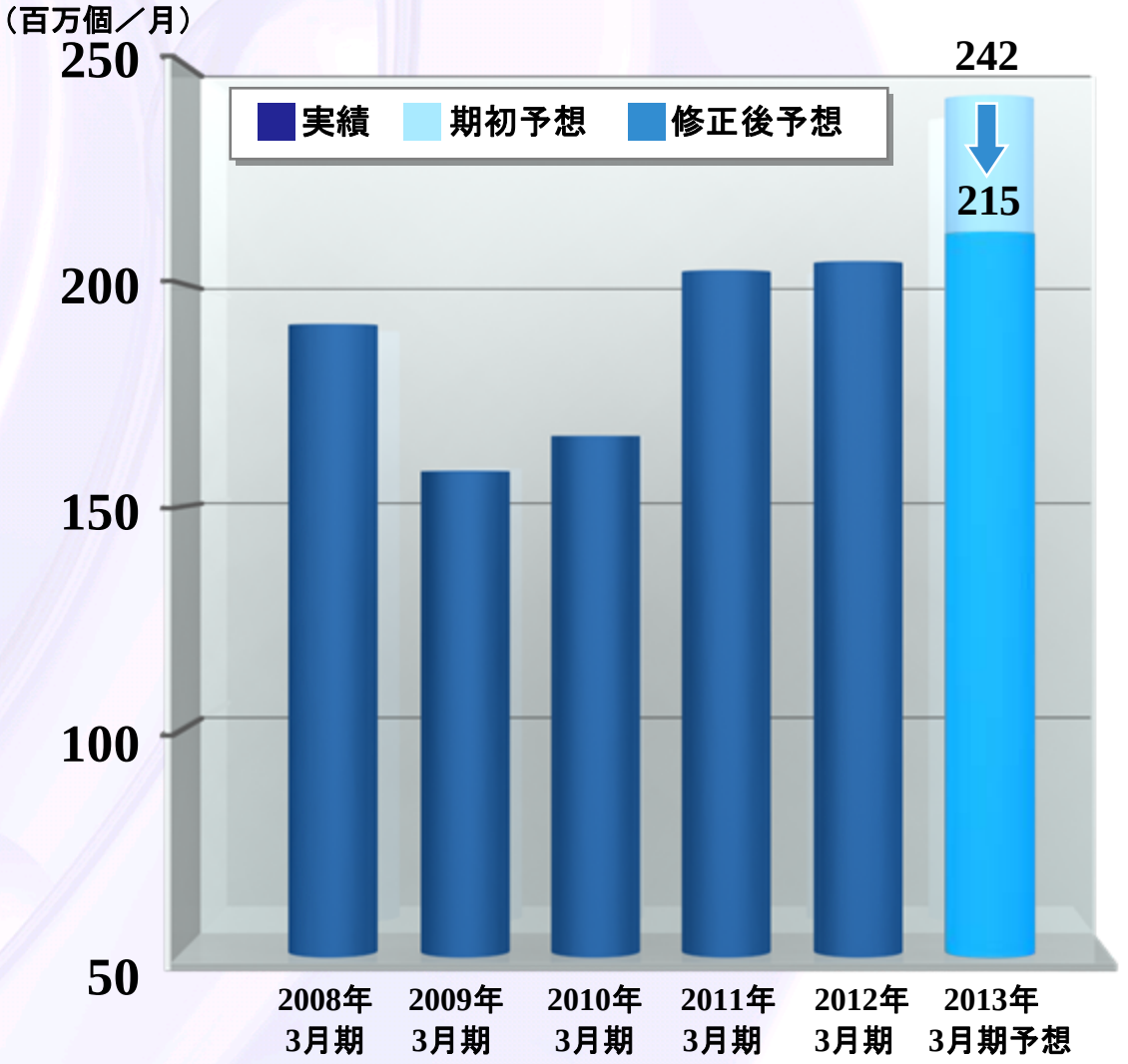
今期販売数量見込み下方修正

量産体制の変更

HDD用ピボット向けに注力した生産体制から、新分野（中径サイズと低価格量産品）を含めた他用途向けにシフト

減産に伴い労務費削減などの取組みを強め、収益の確保に努める

ボールベアリング販売数量（外販+内販）推移



来期に向けて

■ボールベアリングの拡販

HDD用ピボット向け以外の
用途への拡販

■ロッドエンド・ファスナー の売上増加

■LEDバックライトの売上拡大

新規受注活動を強化

■ 複合部品の拡大

東京研究開発センター新設による
スピーディな開発機能の強化

■M&A・アライアンス による上乗せ



受注好調なロッドエンド・ファスナー事業

Minebea
Passion to Exceed Precision

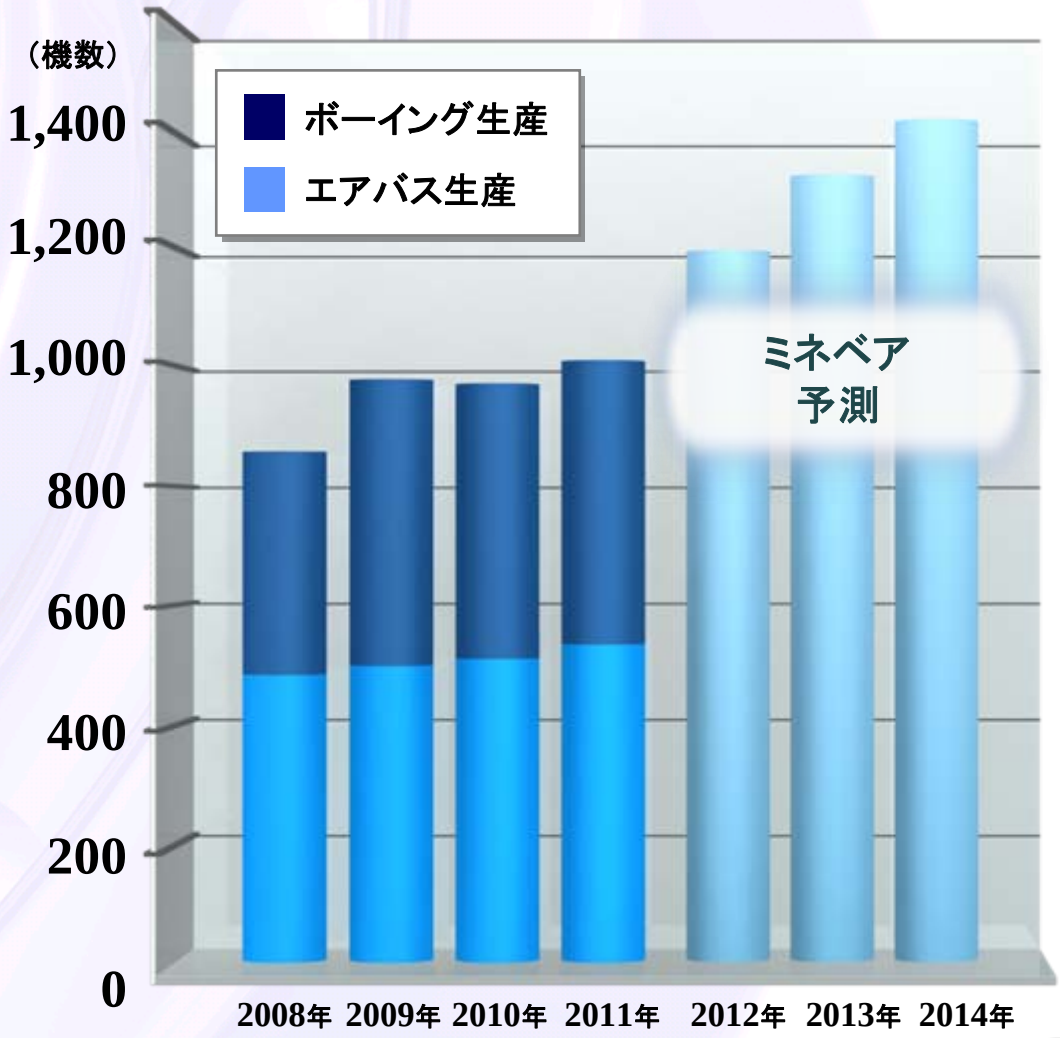
航空機受注が増加し、
中期的に航空機部品
市場は拡大中

売上、利益率とも順調に
増加を続けている

・製造コスト引下げに向け、
タイ・ロッブリ工場での
標準品生産能力を拡張

・省エネ型新型機
（A350XWB、A320Neo、
Boeing737MAXなど）での
受注活動に注力中

ボーイング・エアバス民間航空機出荷機数推移



（出所：ボーイング、エアバス、予測はミネベア）

来期に向けて

■ボールベアリングの拡販

HDD用ピボット向け以外の
用途への拡販

■ロッドエンド・ファスナー の売上増加

■LEDバックライトの売上拡大

新規受注活動を強化

■ 複合部品の拡大

東京研究開発センター新設による
スピーディな開発機能の強化

■M&A・アライアンス による上乗せ



増収増益のLEDバックライト事業

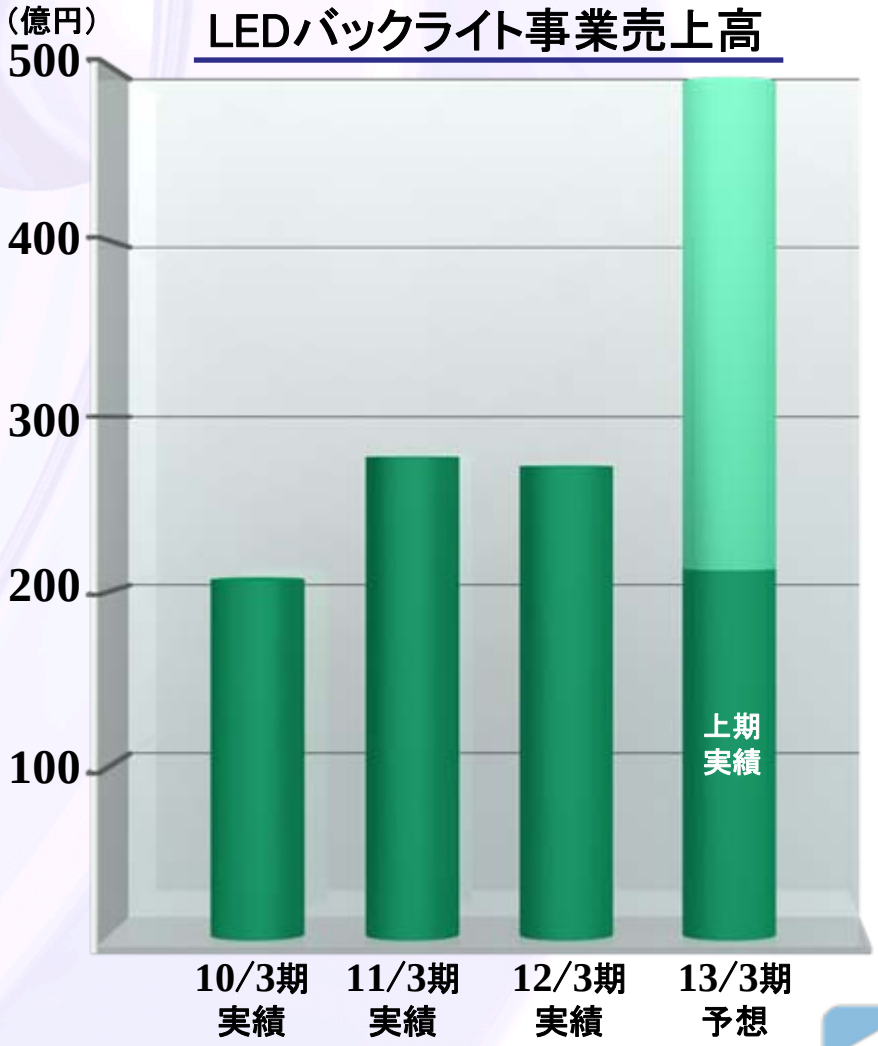
本格的収益貢献は下半期に

様々な分野での技術的な問題に解決のメド

タブレットPCとスマホ向けの売上急拡大

更なる売上成長へ向け、タブレットPCサイズ向け製品の新規受注活動を強化

コスト競争力の強化に向け、自動機の導入とカンボジアでのサブアッセンブリーを促進



来期に向けて

■ボールベアリングの拡販

HDD用ピボット向け以外の
用途への拡販

■ロッドエンド・ファスナー の売上増加

■LEDバックライトの売上拡大

新規受注活動を強化

■ 複合部品の拡大

東京研究開発センター新設による
スピーディな開発機能の強化

■M&A・アライアンス による上乗せ



社長直轄の東京研究開発センターの開設

コストセンターではなくプロフィットセンターとしての位置づけ

- 2012年8月に購入した新東京本部ビルに、2013年初めに設置へ（60名程度の人員でスタート）
- 研究者や情報の集まる東京で、複合製品のスピーディーな開発機能の強化を図る
- 流動化が進む優秀な研究者、開発技術者をタイムリーに確保へ

大森工場移転後の土地売却時に大きな節税メリット

自社ビルへの移転で、実質的に大幅な経費削減



（東京都港区三田）

来期に向けて

■ボールベアリングの拡販

HDD用ピボット向け以外の
用途への拡販

■ロッドエンド・ファスナー の売上増加

■LEDバックライトの売上拡大

新規受注活動を強化

■ 複合部品の拡大

東京研究開発センター新設による
スピーディな開発機能の強化

■M&A・アライアンス による上乗せ



M&Aとアライアンス戦略

Minebea
Passion to Exceed Precision

現在の経済動向を鑑み、大規模M&Aには当面慎重に対応する

機械加工品事業の強化を最優先で行う

- 機械加工品事業分野での様々なアライアンスも強化していく
- それ以外の事業分野でも、必要に応じて事業強化の手段としてM&Aとアライアンスを活用していく

来期に向けて

■ボールベアリングの拡販

HDD用ピボット向け以外の
用途への拡販

■ロッドエンド・ファスナー の売上増加

■LEDバックライトの売上拡大

新規受注活動を強化

■ 複合部品の拡大

東京研究開発センター新設による
スピーディな開発機能の強化

■M&A・アライアンス による上乗せ



配当方針

配当

13/3期 中間配当 3円/株

13/3期 予想期末配当 4円/株

計年7円/株

配当方針

「当社は、経営環境を総合的に勘案し、継続的に安定した利益配分を維持しながら、株主資本の効率向上と株主へのより良い利益配分を第一義とし、業績をより反映した水準での利益還元をはかることを基本方針といたします。」

ミネベア株式会社
決算説明会
http://www.minebea.co.jp/

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております
実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。
実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計･開発、製造･販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。
本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段･方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製･変更･転載･転送等を行わないようお願いいたします。